

## 第10回

# 衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会 議事要旨

開催日時 2011年1月21日 13:30～

開催場所 社団法人衛星放送協会会議室

### 出席者

委員長	鳥居 昭夫	横浜国立大学 経営学部 教授
委員長代理	音 好宏	上智大学 文学部 教授
委員	石岡 克俊	慶應義塾大学 産業研究所 准教授
委員	林 尚樹	衛星放送協会 専務理事
委員	井川 泉	(株)シー・ティ・ビーエス 代表取締役社長
委員	仁藤 雅夫	(株)スカパーJSATホールディングス 取締役
委員	加藤 修	(株)スカパーJSATホールディングス 取締役

事務局	木田 由紀夫	(株)スターチャンネル 取締役社長
	後藤 剛士	スカパーJSAT(株) 経営戦略本部 経営企画部 マネージャー
	鈴木 正市	(株)日本ケーブルテレビジョン 経営企画部長
	藤田 高弘	(株)東北新社 メディア本部

### 【資料】

- ・ 議事次第、席次表

第9回議事録

第9回議事要旨

10-2① ガイドラインの運用状況について	10-3 「普及促進委員会」開催の状況について
10-2② [別紙1]事業者連絡会・経営者連絡会	10-4① 「プラットフォームガイドラインに関する委員会」への提案 役務放送事業者
10-2③ [別紙2]スカパー-1・スカパー-1e2 事業者動向	10-4② 衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会への意見書
10-2④ [別紙3] 第10回プラットフォームガイドライン委員会(社内委員会)議事録	

## 1. 委員長挨拶

鳥居委員長より「第10回 衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会」を開催する宣言があった。

## 2. 事務局からの報告

委員長より、当委員会の議事録、及び議事要旨の確定方法について、該当回の次の委員会の前に出席者がメール等でのやりとりにより確認・確定することは、今後、事業者からの申し立てや、また相反する利害が対峙する場合の調整の役割を当委員会が果たすべき時に適当ではなく、これまで通り委員一同が顔を合わせた場所で確認する作業が欠かせないのではないかとの意見があり、これが出席者全員の同意により了承された。また議事録の迅速な確定は、委員会自体を予定通り年4回開催することにより、或いはそれ以外でも随時開催することにより対処することとなった。

## 3. 申立の有無

事務局から、前回の本委員会から今日に至るまで、特に申立は無かったとの報告がされた。

## 4. 衛星放送のプラットフォームガイドラインの運用状況について

スカパーJSAT 代表委員による説明

(1) ガイドライン運用全般について資料「10-2① ガイドラインの運用状況について」に即して説明した。

(2) スカパーJSAT の事業者向け情報開示についての説明資料「ガ委 10-2②」

### [経営者連絡会]

▶ 開催日時 2010年9月13日(月) 13:30～

開催場所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席 79 法人、169 名

テーマ

- 和崎衛星放送協会会長特別講演
- 2010 年度(1Q)の業績概要
- スカパー！サービスの現状と課題
- 2010 年度下期方針
- 放送事業本部 2009 年レビューと今後の展開
- マーケティング本部 2010 年度下期施策について

▶ 開催日時 2010年11月25日(月) 16:00～

開催場所 ホテルオークラ

出席 74 法人、133 名

テーマ

- 2010 年度 (2Q) 決算 及び これまでの収支 (資料事前配布)
- スカパー！サービス全体に関する今後の考え方
- スカパー！サービスの展開／スカパー！e2の展開
- 今期内のコンテンツ展開
- 今期の加入状況
- 年末商戦に向けた販売方針・施策
- スカパー！光 販売方針・施策

### [事業者連絡会]

▶ 開催日時 2010 年 7 月 27 日 (火) 14 : 00～

開催場所 スカパーJSAT 本社

テーマ

- 8/1 付組織変更に関して
- 7～9 月 宣伝プランについて
- リスティング広告最適化ツールのご提案
- 会報誌「Days」関連のご報告
- スカパー！アワード 2010 に関して
- スカパー！レンタルサービス SD 専用プラン受付終了のお知らせ
- スカパー！e2 サービス 新BS対応に伴う停波について
- スカパー！e2 かんたんリモコンについて

▶ 開催日時 2010 年 8 月 23 日 (月) 10 : 30～

開催場所 スカパーJSAT 本社

テーマ

- 3D コンテンツ募集について
- 2010 年度コンテンツ募集 (第二期) 概要説明
- スカパー！e2 の上期販売状況／スカパー！HD の上期状況について
- スカパー！サービス SD 放送 放送休止及び EPG 反映不可時間について
- 会報誌「Days」電子版サービス開始についてのご報告
- その他

▶ 開催日時 2010 年 9 月 24 日 (月) 13 : 30～

開催場所 スカパーJSAT 本社

テーマ

- スカパー！HD 対応 DVR デモンストレーション
- 会報誌「Days」での別冊トライアル同梱について
- スカパー！アワード2010 関連のご報告
- スカパー！HDの上期状況について
- 各種規約の変更について
- CHINASAT-6A に関するお客様対応に関して

▶開催日時 2010年11月4日（月） 15：30～

開催場所 スカパーJSAT 本社

テーマ

＝第1部＝

- Twitter チャンネルアカウント連動プロモーション企画
- 1ヶ月番組情報の活用状況
- 会報誌・番組ガイド誌に関する各種ご報告
- 年末商戦に向けた広告宣伝展開／販売促進展開
- スカパー！アワード2010 関連のご報告
- その他

＝第2部＝

- スカパー！サービス 今後の取組みについて

▶開催日時 2010年11月19日（金）16：00～

開催場所 スカパーJSAT 本社

テーマ

- スカパー！サービスの今後の取組みに関する提案について  
（事業者様から寄せられたご質問・ご意見に対する回答・説明）

▶開催日時 2010年12月6日（月）14：30～

開催場所 ANA インターコンチネンタルホテル

テーマ

- スカパー！サービスの今後の取組みに関する提案について  
（事業者様から寄せられたご質問・ご意見に対する回答・説明）

▶開催日時 2010年12月20日（月）15：00～

開催場所 スカパーJSAT 本社

テーマ

＝第1部＝

- 会報誌「Days」に関するご報告
- 2010年度顧客維持プログラム中間報告
- スカパー！e2 新BS対応に伴う低波について
- 年末商戦に向けた広告宣伝展開

＝第2部＝

- スカパー！e2サービス 今後の取組みについて
- スカパー！サービスに関するご提案／移行施策の考え方

▶開催日時 2011年1月17日（月）10：45～

開催場所 スカパーJSAT 本社

テーマ

- スカパー！サービスの今後の取組みに関する提案について  
(事業者様から寄せられたご質問・ご意見に対する回答・説明)

[放送事業者の開閉局の動向（10年7月～12月）]

スカパー！：開局 4ch | 閉局 0ch | 名称・内容等変更 13ch | 料金変更 4ch

スカパー！e2：開局 1ch | 閉局 2ch | 名称・内容等変更 4ch | 料金変更 0ch

(3) 普及促進委員会の開催状況

資料「10-3」に沿って、事務局より報告された。

親会/W.Gとも8月～11月の各3回分について報告があった。また親会については以下のような開催状況報告がなされた。

▶ 第32回 (H22. 08. 23)

1. 衛星放送協会未加盟者の普及促進委員公募についての報告
2. 普及促進活動委員会の運営について
3. 普及促進活動の方向性についての意見交換
4. スカパー(124/8)からスカパーHDへのマイグレーション施策についての意見交換

▶ 第33回 (H22. 09. 30)

1. 新規メンバー公募について
2. WG 報告
3. 販売促進計画について意見交換
4. 新BS移行のパッケージ構成についての意見交換

▶ 第34回 (H22. 11. 15)

1. WG 報告
2. 新メンバーの公募について
3. 2015年3月末のMpeg2終了予定についての意見交換
4. 110度の帯域整理について意見交換

5. 「無料放送事業者のプラットフォームガイドラインに関する委員会への問題提起」について

事務局より、前回の委員会等での議論を踏まえ、説明がされた。

<第7回委員会分(資料10-4①)>

過去の委員会での議論を踏まえ、事務局の回答案が示され、委員会として提示案の通り回答することとなった。また回答については衛星放送協会のホームページへの掲載、及び意見者本人へ直接伝達の双方を行なうことが確認された。

<第8回委員会分(資料10-4②)>

前回委員会での議論を踏まえ、事務局の回答案が示された。加えて委員長、及び事務局より、前回委員会で議論が不十分であった部分が示された(該当部分は、「9. ガイドラインの改正に関する要望」に対する回答案部分)。本意見では、「パック・セットの組成・変更時のプラットフォーム事業者に対する提案、助言となっているが、現行パック商品が変更や廃止の提案を困難とする商品構成となっており」の部分において、その意図が不明確である為、事務局が意見者にご意見の趣旨の確認を行なうこととなった。その上で「当委員会よりスカパーJSATに対しご意見の趣旨を伝えることとします」と回答することとなった。

6. その他

林委員より、今後の、スカパー!HDサービスへの移行時における、また完全移行した後のプラットフォームガイドラインの扱いについて意見が出された。これに対しては各委員より以下の発言があった。

- 個々の案件について事業者との合意が得られるように協議のプロセスをとっている。また、番組供給スタイルでの放送が始まる前に、プラットフォームガイドラインに沿って経営者連絡会、事業者連絡会、普及促進委員会等において提案、話し合いや合意をした上で進めている。(仁藤委員)
- プラットフォーム事業者の側が会社の公正を欠いた、ないしは、サービスの提供の形態を変えて、それが番組提供事業者ないし委託放送事業者がビジネスを行う機会に影響を与えてしまう場合、また新たな形を志向していくにあたり進め方に問題はないかについては、当委員会として関心を持たねばならない。ま

た、現実に行なわれている状況がガイドラインに抵触しないかについてもチェックすべきである。(鳥居委員長)

- HD化に伴い、放送事業者たるスカパー・ブロードキャスティング社をスカパーJSATが設立して、その段階で通常の委託放送事業者と資本関係のあるスカパー・ブロードキャスティングとの間でスカパーJSATが差別的取り扱いをしないことについては現存のガイドラインの範疇である。一方でHD化に伴って設立されたスカパー・ブロードキャスティングと番供の関係が放送法の埒外にある問題となったときに、このガイドラインで扱うべき問題か否かという部分については、いくつかの選択肢があると考ええる。法的には形式的に埒外と考えられるが、埒外になった分、このような問題が発生すると、「優越的地位」や「差別的取扱い」という独禁法の問題となるので、当業界として対応するとともに、ガイドラインについても将来的には検討していかねばいけないかもしれない。(石岡委員)
- 一度決定したガイドラインは既存事業者だけでなく、将来の新規事業者に適用される側面は考慮すべきである。例えば、ガイドラインにおける公平性維持の半面、それによりスカパー！HDの仕組みにおいては、トランスポンダ使用料を払う必要がないため、収入が見込めない事業者の参入も可能になることを念頭において決めるべきである。また見直しをする時にはケーブルテレビを含めて、この業界がプラスに向かっていくにはどのような仕組みにすべきかを考える必要がある。(仁藤委員)
- 参入のハードルについては、誰でもわかる、合理性のある説明をする責任があると考ええる。(石岡委員)
- 新しい規格(スカパー！HD)を作っていく過程において、本ガイドライン委員会を作った趣旨を尊重して進めることが、価値として社会に与すると考えられ、従って法律の問題とは別にこの趣旨を尊重してきたパートナーたちの持っている価値というものが踏みにじられるような事態が発生したときには、それなりの社会的評価を受けるということはスカパーJSATも委託放送事業者も理解していると思われる。それを踏まえて、現状は各種の推移を見ていきたい。(音委員長代理)

これらの意見を踏まえ、鳥居委員長より、現時点では状況が混沌としていることもあり、それらを整理してからの議論が妥当と考えるが、まずはスカパーJSATがガイドラインの趣旨を理解していると考え、合意の形成過程を見守りたいとの意見が出された。

以上